

認知症作業療法 活動報告（概要）

富山県作業療法士会では、平成27年に認知症初期集中支援チーム推進委員会を立ち上げ、富山県内の市町村からの依頼に応じたり、県士会員の認知症に関する知識・技術向上への支援を行っている。現在は認知症作業療法委員会と名称を変更し、9名の委員で対応している。活動は当委員会だけでなく、PT・STとの合同のリハビリテーション専門職協議会、県士会内の地域アドバイザー推進委員会や作業療法普及指導部とも連携して取り組んでいる。

「若年性認知症の人と家族の交流会」への援助

【経緯】

- ・富山県若年性認知症相談支援センターより、「本人家族の交流会の運営に力を貸してもらえないか」との依頼を受ける。

【実施】

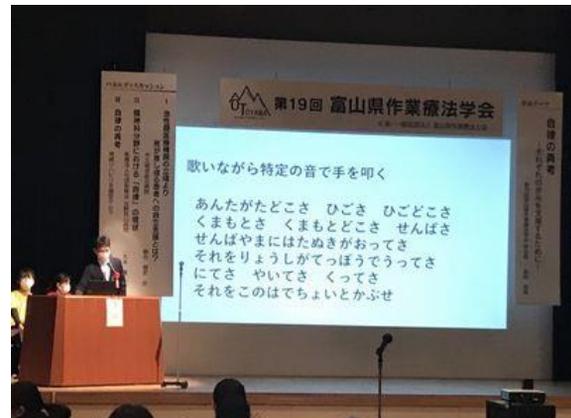
- ・2020年7月より2ヶ月に1度実施。当事者の方の力を引き出し、生き生き過ごせる場の提供を求められている。推進委員で提供するアクティビティを検討し実施している。（7月はトートバック作り、9月はハロウィン小物作り）



県士会員に向けてのコグニサイズ紹介

認知症予防活動の1つとして広く普及し始めているコグニサイズをさらに士会員に広めるべく紹介を行っている。

富山県作業療法学会（2020年2月23日開催）等、地区ごとの勉強会にて幅広く提供。



COVID-19（新型コロナウイルス）の影響・対応など

以下がCOVID-19により中止となった。

- ・2020年3月1日：認知症アップデート研修
- ・2020年10月22～23日：健康と長寿の祭典（PT・STと共に啓発事業を行う予定だった）
- ・2020年11月7日～8日：東海北陸作業療法学会（小ブースを担当予定だった）

また、2020年度も認知症アップデート研修を計画していたが目途が立っていない。

今後の展開

- ・若年性認知症の人と家族の交流会の援助は始まったばかり。来年度以降も継続して依頼を受けられるよう努めていく。
- ・認知症アップデート研修をWeb開催出来ないか検討中。